

## コラム 15ー ジョージ・リンチの「義和団変乱記」及び外紙の論評

### <ジョージ・リンチの「義和団変乱記」>

「日本軍区の入りは、ロシア軍区からの移住者によって急激に進んで行った。そこでロシアでは、財物を抱えて他区へ移住することを厳禁したが、それでも支那人たちは、ロシア軍区に留まって恐怖に堪えているよりはと、あらゆる財産を見捨てたまま去っていくのである。」

### <ロンドン・タイムズ社説（1901(明治34)年8月28日付）>

「公使館区域の救出は、日本の力によるものと、世界は感謝している。列国が外交団の虐殺とか国旗侮辱を免れえたのは、一重に日本のお蔭である。日本は欧米列強の伴侶たるにふさわしい国である」

### <英国のスタンダード紙の社説（1901(明治34)年8月8日付）>

「義和団鎮圧の名誉は日本兵に帰すべきである。日本兵の忍耐強さ、軍規の厳正さ、その勇氣はつらつたるは、真に賞賛に値するものであり、かつ、他の追隨を許さない。」

なお、このときの日本軍の指揮官である柴五郎中佐は、その勲功を認められ天皇陛下から金鵄勲章功三級を賜るとともに、欧米各国からの叙勲が相次ぎ、ローマ教皇からもダイヤモンドが授与されています。